

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月26日

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー
 コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 靖公

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第3四半期 | 6,449 | 9.9 | 831 | 11.4 | 842 | 11.9 | 461 | 6.0 |
| 21年12月期第3四半期 | 5,870 | — | 747 | — | 752 | — | 434 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 139.07 | — |
| 21年12月期第3四半期 | 131.18 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 6,216 | 4,912 | 79.0 | 1,481.93 |
| 21年12月期 | 5,806 | 4,588 | 79.0 | 1,384.30 |

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,912百万円 21年12月期 4,588百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 22年12月期 | — | 20.00 | — | | |
| 22年12月期 (予想) | | | | 20.00 | 40.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,365 | 7.7 | 1,091 | 16.3 | 1,102 | 16.3 | 602 | 15.0 | 181.64 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 3,315,000株 21年12月期 3,315,000株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 一株 21年12月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 3,315,000株 21年12月期3Q 3,315,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における外食業界を取り巻く環境は、雇用不安や所得の減少により消費者の生活防衛意識は依然として高く、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中当社は、第3四半期(7月から9月まで)において、既存店強化策として積極的な販促活動と2店舗の改装を行いながら、2店舗の新規出店をいたしました。それにより既存店来客数前年比は107.1%(19ヶ月連続で前年比100%超)、同売上高前年比は104.2%、新店を含めた全社売上高前年比は115.5%となり、第3四半期累計期間においても増収増益を達成いたしました。

商品において、6月のメニュー改訂では、お値打ちなランチメニューに加え、以前ご好評いただいております「ぶどう牛ステーキ」をメニューに復活させ、お値打ち感のある商品と高付加価値商品で、客数と客単価の増加に取り組んでまいりました。また、それに併せて安全安心なオーストラリアビーフを使用した商品を打ち出した「大オーストラリアフェア」を開催し、お食事券が当たる抽選もお楽しみいただきました。さらに、お子様会員の「キッズクラブ」では、夏休み期間限定のイベントを実施し、これらの販促企画は再来店の促進とファミリー層の集客に寄与し、前述の既存店来客数の増加となりました。

店舗において、新規出店した「東久留米店」、「長久手図書館通店」、「青葉台店」、「笠寺店」の4店舗は、いずれも当社の店舗別売上高の上位に入る好調なスタートを切ることができました。また、既存店の活性化を図るべく売上高上位の3店舗を改装し、更なる来客数の増加に努めました。新店・改装店とも女性客とファミリー層の拡大を図り、客席レイアウトや内装等を変更し店内も明るくイメージアップしたことにより、いずれの店舗もご好評をいただき、売上高の増加に繋がっております。(9月末現在店舗数 計65店舗)

販売費及び一般管理費は、新規出店や販促企画の強化により、販管費率は前年同期比で0.1ポイント増加しましたが、ファクトリー(自社工場)での商品開発と内製化の拡大等により原価率を28.1%と前年同期比で0.2ポイント改善したことにより、経常利益率は13.1%と前年同期比で0.3ポイント改善させることができました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高64億49百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益8億31百万円(同11.4%増)、経常利益8億42百万円(同11.9%増)、四半期純利益4億61百万円(同6.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は62億16百万円(前事業年度末58億6百万円)となり4億9百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が3億17百万円および原材料等が83百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は13億3百万円(前事業年度末12億17百万円)となり86百万円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が91百万円および買掛金が67百万円増加した一方、未払法人税等が48百万円および長期借入金43百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は49億12百万円(前事業年度末45億88百万円)となり3億23百万円増加し、自己資本比率は79.0%(前事業年度末79.0%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により繰越利益剰余金が3億28百万円増加したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、10億88百万円(前事業年度末7億98百万円)となり2億90百万円増加いたしました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は7億95百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が8億18百万円、減価償却費が2億91百万円および仕入債務の増加額が67百万円あった一方、法人税等を4億22百万円支払ったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3億68百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により3億5百万円および差入保証金の差入により32百万円支出したこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億36百万円となりました。これは主に、長・短期借入金純額が20百万円増加した一方、社債の償還による支出が32百万円および配当金の支払が1億24百万円あったこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年1月27日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,841,863 | 1,524,120 |
| 売掛金 | 19,663 | 23,284 |
| 商品及び製品 | 18,067 | 29,587 |
| 原材料及び貯蔵品 | 159,841 | 76,610 |
| その他 | 124,407 | 123,563 |
| 流動資産合計 | 2,163,844 | 1,777,166 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,245,232 | 2,215,571 |
| 構築物(純額) | 225,512 | 220,185 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 294,095 | 307,613 |
| 土地 | 276,207 | 276,207 |
| その他(純額) | 80,900 | 72,536 |
| 有形固定資産合計 | 3,121,949 | 3,092,114 |
| 無形固定資産 | 111,940 | 118,072 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 529,447 | 520,299 |
| その他 | 289,017 | 298,770 |
| 投資その他の資産合計 | 818,465 | 819,070 |
| 固定資産合計 | 4,052,354 | 4,029,257 |
| 資産合計 | 6,216,198 | 5,806,424 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 276,417 | 208,678 |
| 短期借入金 | 200,200 | 108,500 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 32,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 59,966 | 88,166 |
| 未払金 | 362,658 | 365,372 |
| 未払法人税等 | 185,070 | 233,385 |
| 賞与引当金 | 74,256 | 12,344 |
| その他 | 68,337 | 48,921 |
| 流動負債合計 | 1,266,905 | 1,097,368 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 40,000 |
| 長期借入金 | 17,573 | 60,874 |
| その他 | 19,132 | 19,211 |
| 固定負債合計 | 36,705 | 120,085 |
| 負債合計 | 1,303,610 | 1,217,453 |

(単位:千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 803,337 | 803,337 |
| 資本剰余金 | 713,337 | 713,337 |
| 利益剰余金 | 3,401,850 | 3,073,434 |
| 株主資本合計 | 4,918,525 | 4,590,109 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,937 | △1,139 |
| 評価・換算差額等合計 | △5,937 | △1,139 |
| 純資産合計 | 4,912,587 | 4,588,970 |
| 負債純資産合計 | 6,216,198 | 5,806,424 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 5,870,238 | 6,449,902 |
| 売上原価 | 1,664,051 | 1,809,529 |
| 売上総利益 | 4,206,186 | 4,640,372 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,459,184 | 3,808,484 |
| 営業利益 | 747,001 | 831,887 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,438 | 1,601 |
| 受取配当金 | 751 | 1,149 |
| 受取賃貸料 | 15,880 | 15,480 |
| 協賛金収入 | 7,439 | 8,265 |
| その他 | 3,831 | 7,634 |
| 営業外収益合計 | 30,340 | 34,131 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,804 | 2,233 |
| 賃貸費用 | 14,479 | 14,436 |
| その他 | 5,077 | 6,618 |
| 営業外費用合計 | 24,361 | 23,288 |
| 経常利益 | 752,981 | 842,731 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 75,191 | — |
| 固定資産売却益 | — | 160 |
| 特別利益合計 | 75,191 | 160 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 7,740 | 24,477 |
| 店舗閉鎖損失 | 4,850 | — |
| 災害による損失 | 35,430 | — |
| 特別損失合計 | 48,021 | 24,477 |
| 税引前四半期純利益 | 780,151 | 818,413 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 354,159 | 378,184 |
| 法人税等調整額 | △8,873 | △20,786 |
| 法人税等合計 | 345,285 | 357,398 |
| 四半期純利益 | 434,865 | 461,015 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 780,151 | 818,413 |
| 減価償却費 | 267,287 | 291,415 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 58,626 | 61,912 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,189 | △2,751 |
| 支払利息 | 6,484 | 2,241 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 7,740 | 24,317 |
| 災害損失 | 35,430 | — |
| 店舗閉鎖損失 | 4,850 | — |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △51,035 | △71,711 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 5,522 | 3,620 |
| 長期前払費用の増減額(△は増加) | 6,737 | 8,840 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △47,282 | 67,738 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 6,479 | △24,876 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △800 | 33,762 |
| その他 | △20,074 | 4,689 |
| 小計 | 1,056,926 | 1,217,612 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,189 | 2,751 |
| 利息の支払額 | △7,099 | △2,584 |
| 法人税等の支払額 | △402,224 | △422,399 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 650,792 | 795,380 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △79,945 | △32,471 |
| 定期預金の払戻による収入 | 301,080 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △50,046 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △365,608 | △305,901 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △14,344 | △8,213 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 1,142 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △12,030 |
| 差入保証金の差入による支出 | △24,850 | △32,280 |
| 差入保証金の回収による収入 | 5,283 | 5,000 |
| 建設協力金の回収による収入 | 19,676 | 18,132 |
| 保険積立金の積立による支出 | △1,621 | △1,621 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △210,377 | △368,243 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 143,300 | 91,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | △155,315 | △71,501 |
| 割賦債務の返済による支出 | △28,697 | △195 |
| 社債の償還による支出 | △32,000 | △32,000 |
| 配当金の支払額 | △185,485 | △124,870 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △258,197 | △136,866 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 182,217 | 290,270 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 777,029 | 798,254 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 959,247 | 1,088,525 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。